

週 報

1994年6月5日 聖霊降臨節第3主日

巻15 10号

1994年度教会主題

「十字架のキリストを証する」

聖 句 あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。
だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。

コリントの信徒への手紙一 6章20節

目 標 1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
2. 一人一人が伝道と奉仕を。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323 振替 00290-4-13994

牧 師 秋 吉 隆 雄

牧師宅 電話 045-833-6616

を思うと同情に耐えない。壮健なモーセはどんなにカナンに入りたかったであろうか。しかし、私はここに聖書の強烈な主張があるように思う。モーセがこのままカナンに入ったならば、出エジプトの完成者として国民から神のように崇められたであろう。カナン侵入を許さなかったことは出エジプトはモーセの業ではなく、あくまで神の業であることの宣言である。聖書は個人崇拜を認めず、神の歴史支配への信仰を求めている。

毛沢党の「長征」による中国解放は歴史的偉業と言えよう。しかし、その後の毛沢党崇拜が「文化大革命」につながり、歴史を逆転させた。

今月から再会された上郷集会で新興宗教の教祖たちの財力と権力を誇る姿勢が話題になった。私たちの主イエス・キリストは苦しみを負い続け、最後は悲惨な十字架で死なれた。ここには天と地ほどの違いがある。聖書の信仰は神のみを神とし、人を地にあるただの人とすることに尽きよう。そこに互いの解放がある。

一 牧 師 室 か ら 一

個人崇拜は人間を奴隷化する。天皇崇拜が国民を「赤子」とし、現在の北朝鮮の金日成崇拜も国民から自由を奪って悲惨である。そして、個人崇拜は必ず恐怖政治によって補完されている。

モーセは出エジプトによって同胞を奴隷から解放した。モーセが神が与えてくださる「乳と蜜」の流れるカナンを望むピサガの山頂にようやく立った時、神は「あなたたちは、わたしの聖なることを示さなかった。あなたはそれゆえ、土地をはるかに望み見るが、そこに入ることはできない」と言われる。その時、モーセは「目はかすまず、活力もうせてはいなかった」とある。神はモーセに同胞の罪の故にカナン侵入を許されなかった。モーセは目の前に民族解放の完成を見て、墓もなく消えている。モーセのこれまでの苦勞